



## ◆「静岡大学男女共同参画行動計画」が策定されました

静岡大学では、「静岡大学男女共同参画憲章(基本理念・基本方針)」に基づき、男女共同参画のいっそうの推進に向けて、このたび「静岡大学男女共同参画行動計画」を策定しました(平成21年11月4日決定)。

この行動計画は、多様な価値観を認め合い、教育・研究の場にそれを反映させて学問をより発展深化させ社会に貢献していくために、男女共同参画を推進し、男女を問わず大学構成員の全てが生き生きと活躍できる環境を構築することを目的とし、平成24年度末までのさまざまな取り組みを明確化しており、

- ・短時間勤務制度、育児休業・育児休暇・看護休暇、介護休業・介護休暇、ICT利用の勤務制度など、就業と家庭生活との両立を促すための柔軟な働き方にかかる制度の拡充整備と利用の促進を図ること

- ・女性教員比率を平成24年度までに15%に近づけることを目標とすること。女性職員の昇任についても、数値目標を設けて環境整備を行い、積極的に管理職への登用を行うこと

- ・男女共同参画に関するセミナーやシンポジウムを定期的に開催して、教職員・学生への男女共同参画に関する意識啓発を行うこと

などを掲げています。

これから、この行動計画に沿って、男女を問わず構成員の全てが存分に能力を発揮できる大学となるよう、力を合わせて行きましょう。

## ◆女性研究者(教育者)採用加速システムを新設

静岡大学では、平成20年度から22年度の間、女性研究者支援モデル育成事業として「女性研究者と家族が輝くオンデマンド支援」を実施し、女性研究者(教育者)の研究環境の改善を図るなどを行い、女性教員比率を上げることを目標にしています。

女性教員の比率は、10%程度で毎年少しずつ増えてはいますが、当面の目標15%、将来的な目標25%を達成するためには採用を加速させるシステムが必要です。

このため、去る11月4日に女性研究者(教育者)採用加速システム実施要項を制定し、運用のためのガイドラインを整備しているところです。

女性研究者に限った採用をする場合には、5年間にわたり年間300万円の人件費補助を行い、優先して採用する場合は、3年間にわたり年間200万円の人件費補助を行うことなどにより、各部局で、女性研究者の採用について、積極的な取組が行われることを期待しています。

## ◆男女共同参画シンポジウム 開催!

文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業  
静岡大学「女性研究者と家族が輝くオンデマンド支援」



### 「進化する静岡大学 —これからのオンデマンド支援—

日時: 2010年2月12日(金) 14:30-17:30

場所: 静岡大学 浜松キャンパス 佐鳴会館会議室



基調講演: 佐藤博樹 氏 (東京大学社会科学研究所教授)

「男女共同参画とワークライフバランスが組織を革新する」

記念講演: 塩川祥子 氏

「静大工学部と女性研究者—過去・現在・未来—」

推進課題報告

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| ①理系女性研究者を増やす | 本橋令子氏(農学部准教授)   |
| ②女性管理職を増やす   | 荃田美保子氏(図書館情報課長) |
| ③柔軟に働く       | 中村和夫氏(法務研究科教授)  |
| ④保育ニーズに応える   | 船橋恵子氏(人文学部教授)   |

パネル討論

「静大のオンデマンド支援」

ふるってご参加ください!

# ◆附属幼稚園の高城先生へインタビュー～育児休業制度を利用して～

## 育児休業制度を利用しようと思った経緯を教えてくださいませんか？

もともと育児休業の取得を漠然と考えていて、取ってもいいかなとは思っていました。妊娠後、早い時期に妻に育児休業について聞かれたのをきっかけにして、実際に自分がとれるかなと考えはじめました。育児休業の取りやすい職場の環境で決めましたが、時期についてはやはり子どもを相手にしている仕事なので、年度途中で休みに入るのは難しいだろうなという思いはありました。それでもちょうど上手くいったことがあります。妻にとって仕事復帰の一番いいタイミングは1月からでした。そして、自分にとって育児休業をとりやすい時期が1月からでした。妻が12月まで休みをとり、私が1月から3月まで休みを取って4月から復帰しました。4月からだと子どもを保育園に預けやすいこともあり、時期的な条件もいい具合に重なり、実現しました。

## 育児休業を取得してよかった点をおしえてください。

まず、小さな子どもとの遊び方がわかった点ですね。幼稚園は3歳から5歳までの子どもが通っているので、その年齢の子どもであったら、こんなことをして遊ぶだろうとか、こういう会話をすれば通じるであろうということはわかります。でもまだうちの子とは話ができないし、「ああ」「うう」ですね。妻のまねをして遊んではいたのですが、二人きりになってどう遊ぼうかと不安に思っていた部分もあります。でも子どもと二人きりになったことで、子どもとの遊び方がわかりました。もうひとつは、妻が子どもを任せてくれる点ですね。お互いに気兼ねなく出掛けられます。娘が小さいので、長時間の外出は避けたいのですが、自分もしくは妻が、それぞれの用事で出掛けなければならないとなると、「子どもと二人きり」をどちらもできる。気兼ねなく出掛けられますよ。余計な心配をされずに任せてくれるというのは、お互いによかったかなと思います。

## 育児休業にあたり周りの反応はいかがでしたか？

実家に「育休とるよ」と伝えたときは少し驚いたようでした。休業中には日中に「ちゃんとやってる？」と心配して電話をくれるようになりました。

学生時代の友人も、それぞれ「ちゃんとやってる??」とたまにメールを貰いました。友人に育児休業をとることを話したとき「すごいじゃん、頑張れよお」と励ましてくれました。

## 印象に残るアドバイスを聞かせていただけますか？

妻から「子どもが寝ているときは一緒に寝ていいんだよ」と言われました。その一言で、楽になりました。罪悪感なく休憩ができて、楽しく子どもと過ごすためには、適度な休憩は必要ですね。



## 【編集後記+α】

高城先生、ご協力ありがとうございます。高城先生にインタビューを申し込んだ際、「3ヶ月しか育児休業をとっていませんし、大した話ではありませんよ」とおっしゃっていました。インタビューを終え、高城先生が自然に、真剣に育児に関わっている印象を持ちました。高城先生、お忙しいなか、本当にありがとうございました。

## 出産・育児、介護支援 に関する諸制度



## リーフレットを配布！

ご希望の方は男女共同参画推進室まで  
お問い合わせください。

## 男女共同参画相談窓口

原則予約制 電話、メールにて予約

相談時間 毎週火曜日 13:00～16:00

専用電話 054-238-4789

(火曜日 13:00～16:00)

E-Mail: [d-soudan@adb.shizuoka.ac.jp](mailto:d-soudan@adb.shizuoka.ac.jp)

お気軽にご相談ください。

## 活動報告

### ●教職員啓発セミナー（参加者：113名）

11月9日(月)午後3時から5時

静岡キャンパス 大学会館ホール

講師 向井万起男氏

「実現する夢、しない夢」



### ●学生エンカレッジセミナー

(学部生7名、大学院生7名、教員6名、職員2名 参加)

11月12日(木) 午後2時～4時

静岡キャンパス 共通教育 A棟303

講師 松下 祥子(さちこ)氏

「理系の仕事と育児の両立」



<http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/report.html>

## 編集・発行

静岡大学男女共同参画推進室 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 TEL 054-238-4346 / 054-238-3052

E-Mail [sankaku-s@adb.shizuoka.ac.jp](mailto:sankaku-s@adb.shizuoka.ac.jp) <http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/index.html>